

PRESS RELEASE

Asian Art Award 2017 supported by Warehouse TERRADA

ファイナリスト 5 組を発表



一般社団法人 アート東京は、「Asian Art Award 2017 supported by Warehouse TERRADA」の5組のファイナリストを決定しました。ファイナリストは谷口暁彦・松川朋奈・山本高之・山城知佳子・contact Gonzoです。

第一回目となる今回、現代アートの議論に通じ国際的な視点を持つ若手キュレーター5名が、選考委員としてそれぞれ国内を拠点に活動する5組のアーティストを推薦し、25組の候補アーティストの中から、議論を重ねてファイナリスト5名を選出しました。ファイナリストは、2017年9-10月に寺田倉庫アールスペースにて新作（または準新作）を発表します。そして展示期間中にシンガポール、中国、日本を拠点に活動する審査員7名による審査を行い、大賞を決定します。大賞受賞アーティストには、海外でのさらなる活躍を期待し、賞金、制作活動場所、シンガポールでの個展、そして来年春のアートフェア東京2018における個展の機会が提供されます。

また3月18日（土）には、アートフェア東京2017（東京国際フォーラム）会場内にて本アワードのキックオフイベントを開催します。記者説明会（16:30～）では主催・特別協賛の代表からご挨拶のほか、本アワードの審査員である長谷川祐子氏、本アワードのディレクター小澤慶介が登壇し本アワードの主旨及びファイナリスト選考結果について説明します。さらに、特別トーク「現代アートをめぐる課題と芸術賞のゆくえ～Asian Art Award supported by Warehouse TERRADA 創設特別トーク～」（17:30～）には本アワードの審査員より秋元雄史氏、高橋龍太郎氏、宮津大輔氏、選考委員より山峰潤也氏が登壇します。

選考会の様子をまとめたレポートや、秋の展示については、WEBサイトにて5月中旬以降随時更新予定です。

Asian Art Award 2017 supported by Warehouse TERRADA ファイナリスト 5組

谷口暁彦
Akihiko Taniguchi

1983 年 埼玉県生まれ
埼玉県在住



メディア・アート、ネット・アート、映像、彫刻など、さまざまな形態で作品を発表する。また、渡邊朋也とともに、新宿・思い出横丁で発見されたメディア・アートにまつわるエフェメラルでアンフォルメルなコミュニティ、「思い出横丁情報科学芸術アカデミー」の一員としても活動する。近年、「オープン・スペース 2016」(NTT インターコミュニケーションセンター)「SeMA Biennale Mediacity Seoul 2016」(ソウル市立美術館)などの展覧会に参加。



「私のようなもの／見ることに」2016
コンピューター、プロジェクター、ゲームコントローラー



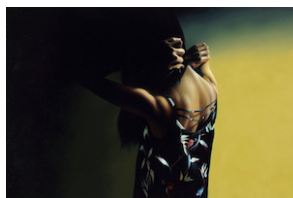
「Cumhur Jay - On & On」2016
ミュージックビデオ 5'30"
Music produced by Cumhur Jay
Video produced by Akihiko Taniguchi

松川朋奈
Tomona Matsukawa

1987 年 愛知県生まれ
大阪府在住



身の回りの痕跡をモチーフに、現代を生きる人々の虚栄心や孤独といった内面を絵画で表現する。主な個展に「Artist Meets Kurashiki vol.12松川朋奈」(大原美術館、岡山、2016年)などが、また、主なグループ展に「六本木クロッシング 2016僕の身体あなたの声」(森美術館、東京、2016年)「If Only Bella Abzug Were Here」(Marc Straus Gallery、ニューヨーク、2016年)などがある。



「朝4時までは待っていて」2015
パネルに油彩 130.3 x 194 cm
Courtesy:Yuka Tsuruno Gallery,Tokyo



「でもこれようやく、私らしくいられるの
かなって思ったりもする」2016
パネルに油彩 130.3 x 194 cm
Courtesy:Yuka Tsuruno Gallery,Tokyo

山本高之
Takayuki Yamamoto

1974年 愛知県生まれ
愛知県在住



小学校教員としての経験を元に、子供達とのワークショップ形式の活動により「未知に会う」体験を創出し、教育制度を批評しながらアートを通じそのオルタナティブなあり方を探求している。近年、民話に焦点を当てたりサーチを各地で行い、近代の社会システムと個人との関係性をテーマにした作品に取り組む。最近「Kochi-Muziris Biennale」(インド、2016-2017)「未見の星座—つながり／発見のプラクティス」(東京都現代美術館、2015)に参加。

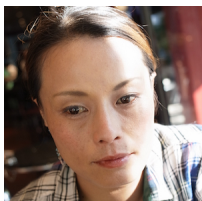


「山月記」2017
HDビデオ インスタレーション サイズ可変



山城知佳子 Chikako Yamashiro

1976年 沖縄生まれ
沖縄在住



撮影：鹿野隆大



「土の人」2016
3チャンネル HDビデオ インスタレーション
23'00"
cooperation: AICHITRIENNALE 2016
©Chikako Yamashiro, Courtesy of Yumiko
Chiba Associates



「創造の発端 -アブダクション/子供-」2015
HDビデオ 18'00"
©Chikako Yamashiro, Courtesy of Yumiko Chiba
Associates (AAC, APMoA Film No.24, 2015)

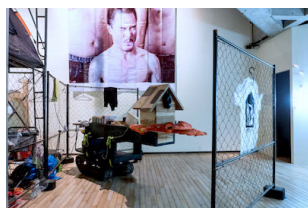
映像や写真を使い、出生地である沖縄の地政学的なあり方を巡って映像作品を発表してきた。近年では海外の物語や歴史を引用し、沖縄の問題を沖縄の問題としてだけではなく、世界中に偏在する、強国に抑圧されている弱きものの語りとして展開している。近年「From Generation to Generation: Inherited Memory and Contemporary Art」(ユダヤ現代美術館/アメリカ、2016-17)「あいちトリエンナーレ2016」(旧明治屋栄ビル/愛知)などの展覧会に参加。

contact Gonzo

2006年 大阪府にて結成



ニューヨーク近代美術館でのパフォーマンス
(2014年) 撮影：チョイ・カーファイ



「フィジカトピア」展 展示風景
(2017年、ワタリウム美術館) 撮影：松見拓也

肉体の衝突を起点とする独自の牧歌的崇高論を構築し、即興的なパフォーマンス作品や、映像、写真作品の制作、マガジンの編集などを行う。70年代の「ゴンゾ・ジャーナリズム」に由来した集団の名称であると同時に彼らが実践する方法論の名称でもある。現在、さまざまな果物を時速100キロで身体に打ち込む行為や山中の斜面を滑り降りる「山サーフィン」、デジタルな素材を扱うビデオゲームなどを作品化している。

3月18日（土）キックオフイベント概要 アートフェア東京2017（東京国際フォーラム）会場内

16:10 受付開始

16:30-17:15 Asian Art Award 2017 supported by Warehouse TERRADA 記者説明会

会場：AFT カフェラウンジ

登壇者(*敬称略)

來住尚彦（一般社団法人 アート東京 代表理事）

中野善壽（寺田倉庫 代表取締役）

長谷川祐子（本アワード審査員／東京都現代美術館 参事／東京藝術大学 大学院国際芸術創造研究科 教授）

小澤慶介（本アワードディレクター／キュレーター）

17:30-18:45 「現代アートをめぐる課題と芸術賞のゆくえ～Asian Art Award supported by Warehouse TERRADA 創設特別トーク～」

会場：AFT カフェラウンジ

登壇者(*敬称略)

秋元雄史（本アワード審査員／東京藝術大学大学美術館 館長／金沢 21 世紀美術館 館長）

山峰潤也（本アワード選考委員／水戸芸術館現代美術センター 学芸員）

高橋龍太郎（本アワード審査員／精神科医／アート・コレクター）

宮津大輔（本アワード審査員／アート・コレクター／京都造形芸術大学 客員教授）

モデレーター 小澤慶介（本アワードディレクター／キュレーター）

18:45-20:30 Asian Art Award 2017 supported by Warehouse TERRADA パーティ

会場：AFT2017 会場内 TERRADA プレミアムラウンジ

ご招待者のみ

名称	: Asian Art Award 2017 supported by Warehouse TERRADA
主催	: 一般社団法人 アート東京
特別協賛	: 寺田倉庫
協賛	: Helutrans-Terrada 株式会社
協力	: 文化庁
賞	: 大賞 賞金 100 万円 副賞 シンガポールと東京での受賞作展示 及び作品制作場所の提供 (6 ヶ月-1 年間) (予定) 特別賞 作品制作場所の提供 (6 ヶ月-1 年間) (予定)
展示場所 (予定)	: 寺田倉庫内アールスペース (東京) ※ファイナリスト 5 名 Helu-Trans(s) Pte Ltd 内ギャラリースペース (シンガポール) ※大賞 1 名 アートフェア東京 2018 (東京) ※大賞 1 名
ウェブサイト	: http://asianartaward.com

本アワードの特徴

30代から40代の若手キュレーター5名が選考委員となり、「私たちが生きる《現代》を表現するアートとはどのようなものか」について議論を重ね、25組の候補アーティストの中から5組のファイナリストを選びます。また、価値観や視点が複雑に交錯する「アジア」について問いつづける柔軟な枠組みを設定し、それに従って内容も変化してゆきます。今後のアートシーンを担うアーティスト、そしてキュレーターが一言に括ることが難しい「アジア」を多角的に捉えながら議論を交わし、時代に合ったアワードづくりを目指します。この議論は、本アワードのホームページ上 (5月以降随時更新) で公開してゆきます。

ファイナリスト選考委員 (*敬称略)

小澤慶介	本アワードディレクター／キュレーター
国枝かつら	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 学芸員
正路佐知子	福岡市美術館 学芸員
服部浩之	あいちトリエンナーレ 2016 キュレーター
山峰潤也	水戸芸術館現代美術センター 学芸員

審査員 (*敬称略)

秋元雄史	東京藝術大学大学美術館 館長／金沢 21 世紀美術館 館長
長谷川祐子	東京都現代美術館 参事／東京藝術大学 大学院国際芸術創造研究科 教授
林洋子	文化庁 芸術文化調査官
Joyce Toh	Singapore Art Museum 共同ヘッドキュレーター
You Yang	Ullens Center for Contemporary Art 副館長
高橋龍太郎	精神科医／アート・コレクター
宮津大輔	アート・コレクター／京都造形芸術大学 客員教授

特別審査員 (*敬称略)

隈研吾	建築家／東京大学 教授
-----	-------------

運営事務局：墨屋宏明／三木茜 (一般社団法人 アート東京)

ART
TOKYO
ASSOCIATION



一般社団法人 アート東京

一般社団法人 アート東京は、日本のアートマーケットの発展と芸術文化の振興を目的とし、アートに関連する様々な事業を企画・制作しています。国内最大級のアートの国際見本市「アートフェア東京」を主催するほか、日本のアート産業に関する市場調査の実施、アートを切り口に地域の魅力を外国人に紹介するアートツーリズム事業等、アートフェア東京で培ったネットワークを活かし日本のアートシーンの発展に寄与しています。

寺田倉庫

寺田倉庫は1950年の創業以来、美術品、メディア、ワインといった専門性の高い商品の保存・保管技術では国内外で高い評価を得ています。近年は拠点とする天王洲をアートの集積地・発信地とすべく、ミュージアム、画材ラボ、レンタルアトリエの運営、アートアワードの開催といったアート関連事業にも積極的に取り組んでいます。